


『マイ・レフトフット』 原題 <i>My Left Foot</i>	1989 年	執筆: 清水 純子
制作国	アイルランド・イギリス合作	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ: 監督ジム・シェリダン/脚本: ジム・シェリダン、シェーン・コノートン/ 製作: ノエル・ピアソン/ 製作総指揮: スティーヴ・モリソン、ポール・ヘラー/ 音楽: エルマー・バーンスタイン/ キャスト: ダニエル・デイ=ルイス: クリスティ・ブラウン/ヒュー・オコナー: 少年 クリスティ・ブラウン/ レイ・マカナリー: 父パディ・ブラウン/ ブレンダ・フリ ッカー: 母ブリジット・ブラウン /ルース・マッケイブ: メアリー・カー /	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	103 分	
ストーリー	<p>脳性小児麻痺のハンディキャップを背負いながら、画家、詩人、作家として成功したアイルランドのクリスティ・ブラウンの自伝『マイ・レフトフット』に基づく実話の映画化。</p> <p>1932年、アイルランドのダブリンに22人兄弟の10番目に生まれたクリスティ（ダニエル・ルイス）は、脳性小児麻痺のために一人では何もできず、知能も低いと思われていたが、母はあきらめずに見守る。クリスティは唯一動く左足を使って、芸術的天分を發揮し、画家、詩人、作家として成功する。クリスティの言語と身体機能を開花させた女医アイリーン（フィオナ・ショー）に恋するが、彼女には婚約者がいた。失恋したクリスティは自殺を図るが左足ではそれもうまくいかなかった。クリスティは自伝『マイ・レフトフット』によって成功するが、絶望と孤独で偏屈になる。しかしクリスティの自伝に感動した看護師メアリーが結婚を承諾したので、クリスティも幸せになる。</p>	
時代設定	1932年から1972年	
場所	アイルランドのダブリン	
社会背景	<p>1975年、国際連合は身体障害および精神障害に対する障害者の権利宣言を決議し、2006年国連総会において障害者権利条約が採択され、障害者の尊厳と権利を保障する人権条約が採択された。それより以前の身障者の権利は保証されず、社会的偏見と差別が強かった時代、病と貧困と戦いながら左足一本で才能を開花させた芸術家の実話。</p>	

文化的背景	障害者に対する差別と偏見が露骨であった 20 世紀初頭から理解と受容へと向かう過渡期の環境、数多くの才能ある詩人や文学者を生み出したダブリンの伝統、ダブリンの酒場に集う人々の熱気、石炭の生活環境、子だくさんのカトリック教徒の家庭。
使用言語	イギリス英語
テーマ	生まれつき身体にハンディを背負った不幸と絶望を抱えながら才能を発揮して精一杯生きる人間への賛美、孤独と不安に悩む身体障害者への周りの人々の理解と協力の必要性を訴える。
みどころ	ダニエル・ルイスの小児麻痺の身障者のありえないほどの見事な演技、障害にもかかわらず、人間らしく生きようとする強い意志と彼を支える家族の愛。
印象深いせりふ	Christy: I love you, Eileen. Eileen: And I love you, Christy. Christy: No. I really love you. I love you all. Eileen: That's good. Christy: I even love Peter. Eileen: Well, I'm glad you like Peter, because we're going to get married in six months. . . . . . Christy: Why did you say you loved me? Eileen: Because I do love you. Christy: Ah, you mean platonic love. I've had nothing but platonic love all me life. Do you know what I say? Fuck Plato! Fuck all love that is not 100 percent commitment! Pour. Eileen: I can't let you go any further. Christy: Let's discuss nature.
授業教材用 メリット	ダニエル・ルイスのすばらしい演技が見られる、障害を克服して生きる姿を学べる、身体障害者の抱える問題や悩みについて理解を深め、考えさせる。特に障害ある人の愛と性の問題をさりげなく提示する。イギリス英語が聞ける。アイルランドのカトリックの行事（万霊祭）や生活習慣がわかる。
授業教材用 デメリット	ダニエル・ルイス演じるクリスティ・ブラウンのくぐもった英語は聞き取りにくい。やや訛りのあるイギリス英語は聞きなれない。
映像入手元	20 世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン
原作の有無	クリスティ・ブラウン『マイ・レフトフット』
支持反応	Rotten Tomatoes 評価（批評家 97、観客 92）
キーワード	アイルランド、ダブリン、身体障害者、脳性小児麻痺、画家、作家、詩人、言語能力、身体機能、恋愛、結婚、アルコール、酒場、石炭、万霊祭、アイルランドのカトリック。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。